五綱

強くなれ

JC・JAYCEE

一般社団法人 関青年会議所

新年のご挨拶

理事長　多田 幸泰

新年明けましておめでとうございます。令和４年の新春を迎えるにあたり、謹んでお慶び申し上げます。

本年度、一般社団法人関青年会議所はおかげさまを持ちまして６５年目を迎えることができました。これも偏に私たちの運動にご理解をいただいております賛助会員、特別会員そして地域の皆様のご支援とご協力の賜物であり、心より厚く御礼申し上げます。

コロナウイルスの感染拡大から既に 2 年が経過しようとしていますが、いまだ終息が見えておらず、まだまだこの闘いは継続しそうな状況です。このコロナウイルスは、この２年間だけでも次々と変異し、増殖し続けています。昨年はデルタ株が猛威を振るい、そして昨今はオミクロン株の感染が驚異的なスピードで拡大しており、感染防止にはこれまで以上の意識と行動の変化が求められています。まずは、全世界を襲っている未曾有の事態に思いを馳せ、一日も早く平穏な日々が戻ることを祈念いたします。

２０２２年度一般社団法人関青年会議所のスローガンを「強いＪＣへ、そして強いＪＡＹＣＥＥへ」といたしました。この関市のまちをより良いまちへとしていくため関青年会議所の力をより強固なものにすることはもちろん、その礎となるメンバー一人ひとりが青年会議所メンバーであることに誇りと責任を持ち、「まちの成長」だけでなく「自分自身の成長」も意識していかなくてはならないと考えています。家族のため、会社のため、そして全てのまちの人々ために持続可能な関市を紡いでいけるよう運動を展開してまいります。

最後になりますが、皆様方の更なるご支援、ご鞭撻をお願い申し上げますと共に、皆様方のご健勝とご多幸を祈念申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

一般社団法人関青年会議所　２０２２年度理事長所信
２０２２年度理事長　多田　幸泰

はじめに
関青年会議所は１９５７年に誕生し、本年度で創立６５年目を迎えます。戦後の混乱期の状況から明るい豊かな社会を実現するために始まった関青年会議所の運動は、諸先輩方が数多くの事業を積み重ねられ、地域社会に着実なる成果をもたらして参りました。この歴史と伝統を継承しつつ、良いものはさらに拡げ、見直すべきものは素直に見直し、より洗練された運動を展開していきます。
２０２２年現在、新型コロナウイルスの影響は全世界で色濃く残り、未だ終息する気配がありません。此度のパンデミックは世界各国に多大な影響を与え続け、社会経済・働き方・生活様式に至るまで、これまで当たり前だと思っていたことが一変しました。これは青年会議所運動にも大きな変化をもたらし、活動の幅を大きく狭められただけでなく、人と人との繋がり方にさえも影響をもたらしています。しかし、私たちはこの混乱の渦に飲まれることなく、明るい豊かな社会を実現するために自分たちの力で解決に向けて取り組んでいかなければなりません。一人ひとりが幸せな未来を想像し、今やるべきことを互いに手を取り合って実現させていきます。

持続可能なまちのため
　関市は七百有余年の伝統を誇る刃物産業や自然を活かした小瀬鵜飼などの観光産業を中心としたまちであり、高速道路への乗り入れも比較的容易に出来る交通の要所としても利便性の良いまちでもあります。そんなまちに住み暮らし日々まちのために運動を展開している私たちですが、世間一般には知られていない問題がまだまだ多く残されているのではないでしょうか。
　関市は平成１７年に市町村合併を行い、人口も増え、４７０ｋ㎡もの広大な面積を有するまちとなりました。合併によって多くの利点が得られますが、それに伴って欠点も増えてしまうことも理解しなくてはなりません。しかし、現在の関青年会議所メンバー構成には偏りがあり、中心地近くに居住しているメンバーが多いため、中山間地域まで視野が広げられていないという現実問題があります。まちづくりを行う団体として関市を全体でみる広い視野が必要不可欠であり、自分たちに足りない知識や経験を補足しつつ、自分たちの住むまちについて真剣に向き合わなくてはなりません。新たな視点で今一度関市の現状を見つめ直し、持続可能な関市のまちづくりを行っていきます。

子供は社会の宝物
　今を生きる子供たちは、物に溢れ、欲しい情報がすぐ手に入り、大変豊かで恵まれた環境

で生活しています。しかし、新型コロナウイルスの影響により休校や学級閉鎖が多く実施され、オンライン授業も今では新たな様式として定着しました。学校に行かずとも学問を学べるというのは便利な反面、家族への負担の増加、先生やクラスメイトとの触れ合いの減少、地域社会との関わりの減少など、様々な弊害をもたらしています。感染拡大を抑制するためには致し方ない部分はありますが、余儀なく制限された生活を送る子供たちが大人になって社会に出た時に、良好な人間関係を形成していけるのでしょうか。
子供たちが感性豊かで健全な大人に成長するためには、心身共に成長する時期に人と人とが関わり合うことが必要不可欠だと考えます。人間関係は複雑で、時には悩みの種になることもありますが、柔軟な思考で気にせず素直に受け入れることが出来るのも子供の特性です。人と人とが直接関わる機会が減少している今だからこそ子供たちが学ぶことのできる機会を率先して提供していく必要があり、地域全体で子供たちの育成を行っていかなくてはなりません。

地域経済を担うメンバーの成長

私たちは青年会議所に所属し、まちのために青年会議所運動を行っていますが、そのベースにあるのはメンバー各々の社業です。近年では新型コロナウイルスの影響により働き方やライフスタイルが大きく変化しつつある中でも、新たな様式を模索しながらも日々社業に取り組んでいます。今後もより良いまちづくりを行っていくためにも、各々の社業を磐石なものとしておかなくてはなりません。

近年ではＳＤＧｓの考え方も世の中に浸透して、何十年後も存続できるようにと「持続可能な」という考え方も増えてきました。経済的発展による利益の追求も必要ですが、今さえ良ければ、自分さえ良ければという自己中心的な考え方では、いずれ経済循環からも地域からも排除されかねません。是非ＳＤＧｓのような先進的な考え方を、率先して取り入れてください。
また、コロナ禍において急速な拡がりを見せたＤＸ（デジタルトランスフォーメーション）も、ビジネス面だけでなく教育面においても積極的に取り入れられてきました。人と人との距離が制限される状況の中では有効性の高いものでありますが、同時に直接会って話すことによって生まれるコミュニケーションが減少していることも理解しなくてはなりません。一度は取り入れたＤＸを社会の流れとともに排除していくような短期的なものにするのではなく、導入によって生まれる可能性を理解し上手く使いこなしてください。

そのためにも、青年経済人として、様々な情報を得るために広くアンテナを張り巡らしておかなくてはなりません。そして、得た情報を自らのフィルターを通し、良いと思うものであれば積極的に取り入れてください。青年会議所は各市区町村だけに留まらず、ＢＣ・ＤＣ・日本・世界への拡がりがあり、多くの情報を保有しています。その情報を自らの手で掴み取り、青年会議所を存分に使い倒してください。

会員拡大

　青年会議所は２０歳から４０歳までの限られた年代の会員が集まり、明るい豊かな社会の実現を目指し活動をしています。会員のそれぞれが持つ考え方や捉え方は異なりますが、一人ひとりの個性を発揮しそれを互いに理解し合うことで事業を計画・実施しているのです。より良いまちづくりを行うためには人の力が必要不可欠であり、まちのことを想い活動する仲間は多いほど社会への影響力を高めることができます。

　私たちが行っている活動は、全てまちのため・ひとのために行っています。その想いを伝えれば、入会への一歩を踏み出してくれる仲間は必ずいます。そのためにはまず多くの若者と直接会って話をして欲しい。現在の若者はデジタル時代を生きてきた世代であり、メールやＳＮＳをコミュニケーションのツールとしてきたからこそ、リアルの言葉というものは必ず心に響くものがあります。共に汗を流し、共に笑いあえる仲間を増やしていくためにも、当事者意識を持って行動に移していきましょう。

結びに

　青年会議所は何をしている団体なのかと問われたら「まちづくりという共通の目的を達成するため、同じ時代を生きる仲間と共に切磋琢磨することで、振り返ってみるとその全てが自己成長につながっている」今だとこう答えます。

　私自身２０１１年に入会し本年度で１２年目を迎えますが、多くの仲間と時間を共にし、多くの諸先輩方から学びを得て多くの地域の方から協力をいただきました。担当した事業が成功して嬉しかったこと、上手くいかず悔し涙を流したこと、その一つひとつが今の私自身の糧となっています。残された年数は少ないですがもっと多くの人と出会い、もっと多くの経験をしたいと思っています。

　そしてメンバーにも多くの人と出会い、多くの経験をして欲しいと思っています。楽しいことも困難なことも必ずや自分自身を成長させてくれると信じています。青年会議所はその機会をいくつも提供していますので、是非その手でチャンスを掴み取ってください。

まちのために、ひとのために、そして自分のために、
青年会議所運動に邁進していきましょう。

新年の御挨拶

関市
市長　尾関　健治

輝かしい新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。
長引くコロナ禍の影響は、社会全体に閉塞感をもたらしました。しかし、その一方で、まちを元気にする明るいニュースがありました。1つは、刃物のまち関市の「顔」となる施設「せきてらす」が完成したことです。刃物や地域の魅力に出会える観光拠点、そして体験や交流を楽しみながら、つながりの輪を広げる新たなスポットとして、多くの市民や観光客から注目を浴び、賑わいを見せています。
もう1つは、市の最大イベント「刃物まつり」を3年ぶりに開催できたことです。大勢の方にお越しいただき、名物の刃物大廉売市を楽しんでいただくことができました。今後も、豊かな地域資源を最大限活用して、より効果的に本市の魅力を発信していきたいと思います。
そして本年は、「人」、「まち」、「暮らし」を躍動させ、豊かさを生み出すために、引き続き「地域経済」、「防災・減災」、「ICT」の3つの課題について、重点的に取り組んでまいります。
コロナ禍で進んだ生活のデジタル化は、人や企業の意識を変え、新たなニーズを生んでいます。地域経済を活性化させるために、企業のDX（デジタルトランスフォーメーション）化を支援し、競争力の強化や事業の継続性の確保などに取り組んでまいります。また、市民サービス向上のため、ICTを活用して自治体業務のデジタルシフトを加速させ、柔軟かつ効率的に対応できる行政運営を進めてまいります。
自然災害に対する備えについても、全自治会を対象とした災害避難カードの作成や防災フェア・防災キャンプなど、市民の防災意識向上のためのソフト事業を進めるほか、津保川の河川改修などハード面の整備も行っていきます。
本年も市政運営に全力投入することを改めてお約束申し上げるとともに、市政に対しましてご理解とご協力を賜りますことを心からお願い申し上げます。
新春の門出にあたり、皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げ、年頭の挨拶といたします。

新年の御挨拶

関商工会議所
会頭　坂井　勇平

新年おめでとうございます。
関青年会議所の皆様方におかれましては、昭和三十二年の創立以来、多方面にわたる事業にたゆまぬ情熱と熱意をもって取り組まれ、社会貢献を推進されてこられましたことに、深く敬意を表する次第でございます。
さて、昨年を振り返りますと、世界経済はコロナ禍における電子機器等の需要拡大により半導体不足に陥り、また経済活動が徐々に再開されたことで原油需要が急激に拡大し価格への高騰を招くなど、多くの業界が厳しい影響を受けました。
半導体不足と原油価格高騰は、依然として先行きが不透明な状況にあり、資源の大部分を海外に依存する我が国では、新エネルギーの開発と新たな供給網の確立が早急の課題とされています。
また、世界的なカーボンニュートラルの流れの中で、企業は脱炭素社会の実現に向けて真剣に舵をとることになりました。持続可能な社会を目指すSDGsへ繋がる各種取り組みは、新たな魅力として捉えられることから、企業はコロナ禍を発端とするニューノーマルに順応し、生産性向上に向けて新たな発想による価値観を生み出さなければならない時代を迎えたといえます。
この様な変革する時代の中、関青年会議所様におかれましては、SDGsに関する事業等々に積極的に取り組まれる姿に感服しています。これからも、皆様の若さ溢れる新しい発想で経営力を高め、「明るい豊かな社会」を築き上げられますことをご期待申し上げます。
関商工会議所といたしましても、地域経済総合団体として企業の生産性向上に繋がる経営支援等に取り組み、「活力ある開かれた商工会議所」を目指して参る所存でございます。
そして、絶えず変革していく時代を皆様と共に手を携えて乗り越えて参りたいと考えております。
結びに、関青年会議所様のより一層のご発展、並びに皆様方のご健勝、　ご多幸を心からご祈念申し上げ、新年のお祝いの言葉といたします。

新年の御挨拶

一般社団法人氷見青年会議所
理事長　三ノ宮　一貴

新年あけましておめでとうございます。
輝かしい希望に満ちた新年を健やかにお迎えのことと、お慶び申しあげます。また、平素より私たち一般社団法人氷見青年会議所の運動、活動にご理解とご協力を頂き厚く御礼申し上げます。
新型コロナウイルスの影響により、これまで私たちにとって当たり前だった生活様式から青年会議所運動までもが大きく変化してまいりました。時代が変化した今だからこそ利他主義で常識を疑い、これまでにないアイデアを掛け合わせながら明るい豊かな社会の実現に向けて確実に前進していく必要があります。
本年度、一般社団法人氷見青年会議所は「革新　～在るものを活かし、無いものを共創しよう～」をスローガンに掲げさせて頂きました。氷見青年会議所は本年度、創立50周年というこの大きな節目を迎えます。新型コロナウイルスの影響もありますが、50年前に氷見青年会議所が始まった時に比べると私たちは当時よりもはるかに良い条件のもとに置かれています。青年が時代の変化を捉え、熱い情熱を持って、能動的に課題解決に向けて行動するとき、社会は必ず動き出します。この節目を氷見青年会議所と地域をより良くするための革新の機会と捉え、これまでの歩みを振り返る原点回帰と未来を見据えながら革新し続ける未来進化を共に包含し、統合し、超越することによって、今後もさらに地域から必要とされる氷見青年会議所へと進んでいきます。
関青年会議所と氷見青年会議所が協力し、それぞれの地域での変わりゆく地域課題を解決していくための活動を共創していくことで、目指すべき明るい豊かな社会の実現へと歩みを進めていけると確信しております。友好 JC として互いに切磋琢磨し、共に歩みを進めていきましょう。
最後に多田理事長のもと、一般社団法人関青年会議所のすべての事業の成功と皆様の益々のご活躍、そして益々の飛躍をご祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

新年の御挨拶

一般社団法人
三方五湖青年会議所
理事長　加茂　健一

新春を寿ぎ、謹んでご祝詞を申し上げます。皆様におかれましては、希望に満ちた新年をお迎えのことと拝察申し上げます。また、一般社団法人関青年会議所が創立65周年を迎えられますことを心よりお慶び申し上げます。そして、平素より、当青年会議所に対しまして格別のご高配を賜り、1991 年の友好JC締結以降、交流を続けさせて頂いておりますことに、厚く御礼申し上げます。

一昨年より猛威を振るっております新型コロナウイルスにより、未だ不安定な状況にあります。その中でも我々青年会議所は運動を止めることなく、ニューノーマルな時代に即した様々な活動を展開して参りました。これまでも幾多の困難を乗り越え、常に地域のことを思い、行動してきた青年会議所には、大きな力があると考えます。このような時代だからこそ、我々青年が勇気と覚悟を持って行動することで、明るい豊かな地域へと導くことができると確信しております。

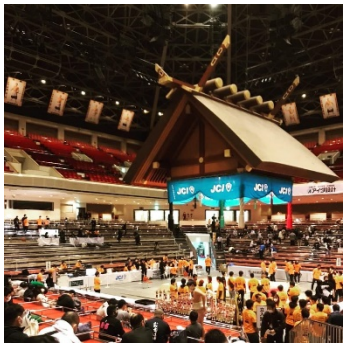
本年度、創立65周年を迎えられ、多田理事長が掲げられた「強いJCへ、そして強いJAYCEEへ」の旗印のもと、メンバーが一丸となって様々な運動を展開され、全ての諸事業が成功することを切に願っております。

当青年会議所は、「輝く～地域の発展とLOMの発展のために～」をスローガンに掲げ、本年度創立45周年を迎え、これまでの感謝と敬意をお伝えし、次の50周年に繋がる運動を展開するべく一年間邁進いたします。

結びに、貴青年会議所並びに関市の皆様のご健勝とご多幸を心より祈念致しまして、新年のご挨拶とさせて頂きます。

２０２１年度実施事業

１月１９日	１月例会	２０２１年度定時総会	総務委員会
１月１９日		２０２１年度理事長所信表明会	事務局
２月　３日	２月例会	岐阜会議	事務局
３月１０日	３月例会	中青会合同例会	総務委員会
４月　２日	４月例会	スピーチで人を惹きつける魅力的な人材になろう	事務局
６月　１日	６月例会	わんぱく相撲岐阜ブロック大会（中止）	青少年開発委員会
７月　１日	７月例会	２０２１年度臨時総会	総務委員会
７月１０日	５月例会	わんぱく相撲関場所	青少年開発委員会
８月　２日	８月例会	セレモニー例会	SDGs 委員会
９月　１日	９月例会	何事にも挑戦できる強い信念を持った JAYCEE になろう	事務局
９月２１日		理事セミナー	総務委員会
１０月３１日	１０月例会	自分が取り組める SDGs を見つけよう	SDGs 委員会
１０月３１日		第３６回わんぱく相撲全国大会	青少年開発委員会
１１月１４日		第２回わんぱく相撲女子全国大会	青少年開発委員会
１１月１５日	１１月例会	セレモニー例会	事務局
１１月１５日		入会説明会	総務委員会
１２月　１日	１２月例会	繋ぐ「和」～次の和のために～	青少年開発委員会
１２月２３日		２０２１年度臨時総会	総務委員会



２０２１年度後期・２０２２年度前期
新入会員紹介

秋元 光輝

昭和 62 年 8 月 31 日

株式会社イチワ建工

若生 幸也

昭和 58 年 4 月 2 日

株式会社富士通総研

森本 祐矢

昭和 59 年 12 月 11 日

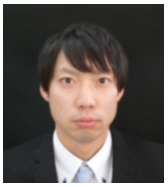
関信用金庫

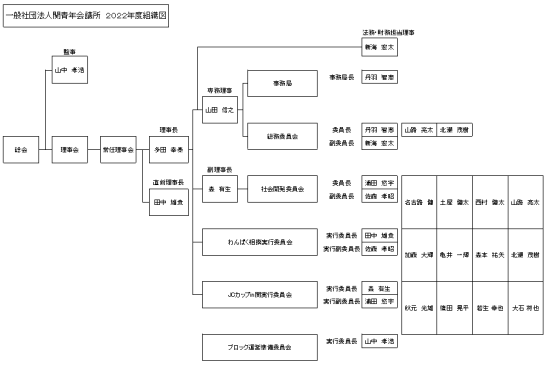
大石 将也

平成 2 年 9 月 28 日

ソニー生命保険株式会社

在籍メンバー紹介

名古路　健	森　有生	山中　孝浩	多田　幸泰	山田　信之
新海　宏太	土屋　健太	山路　亮太	田中　雄貴	丹羽　智彦
				
西村　健太	浦田　悠宇	加藤　大輝	亀井　一輝	佐藤　孝昭
北瀬　茂樹				



一般社団法人　関青年会議所はSDGsを支援しています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
世界を変えるための17の目標

SDGs：Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）とは
2015 年 9 月の国連総会で 193 ヶ国が採択した、2030 年を達成期限とした国際目標であり、課題解決のための共通言語です。

関青年会議所HP
http://www.sekijc.or.jp
@sekijc
seki_jc

一般社団法人関青年会議所
〒501－3883　関市東日吉町43－1
TEL：(0575)22－2205
FAX：(0575)22－2254